

# 優先区間の絞り込みに向けた検討

---

## 説明資料

## 目 次

1. 検討対象区間
2. 播磨臨海地域の変遷
3. 地域の現状と課題
4. 道路交通の現状と課題
5. 地域及び道路の現状（まとめ）
6. 今後の進め方（予定）

# 1. 検討対象区間

---

# 1. 検討対象区間 (播磨臨海地域)

■ 播磨臨海地域は、兵庫県南西部に位置し、国道2号バイパスの沿線地域である姫路市、高砂市、加古川市、明石市、播磨町、稲美町の4市3町で構成

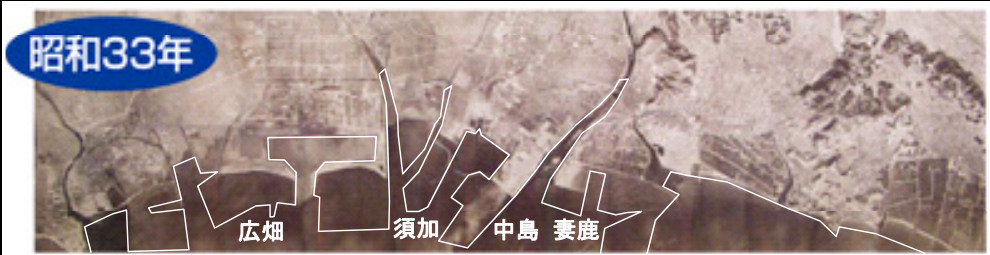





## 2. 播磨臨海地域の变迁

---

## 2. 播磨臨海地域の変遷

■ 昭和初期からインフラの整備とともに、臨海工業地域が急速に発展

年 代	臨海部の整備状況	臨海部航空写真(たつの市～高砂市)
1964年 (昭和39年)	播磨臨海部が 播磨工業整備特別地域に指定	昭和33年 
1967年 (昭和42年)	姫路港が特定重要港湾に指定 (現:国際拠点港湾)	
1980年代 (昭和55年以降)	ひろはた いりふね すか 浜田・広畑・入船・須加・中島地区、 めが 妻鹿LNG基地の埋立開始	昭和55年 
1990年代 (平成2年以降)	あぼし 網干・網干沖・須加地区、 めが 妻鹿LNG基地・福泊地区が埋立整備	平成3年 
2000年代 (平成12年以降)	広畑地区外貿埠頭、 中島埠頭コンテナヤード整備	平成11年 

# 2. 播磨臨海地域の変遷 (道路整備の経緯)

- 昭和45年の国道2号加古川バイパスから、山陽自動車道の開通など幹線道路が順次整備
- 播磨臨海地域の発展とともに、幹線道路の交通需要が増大

【幹線道路整備の経緯】

昭和45年:  
かこがわ  
加古川BP開通



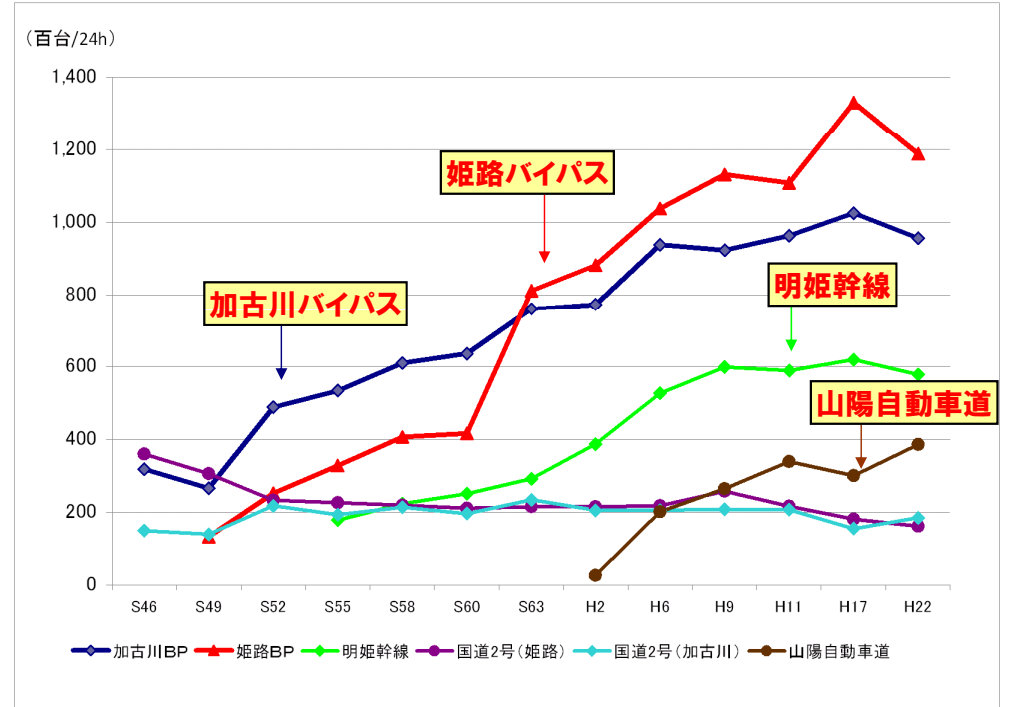
昭和50年:  
ひめじ  
姫路BP開通



昭和55年:  
めいぎ  
明姫幹線開通



【幹線道路の交通量の推移】



出典: 道路交通センサス

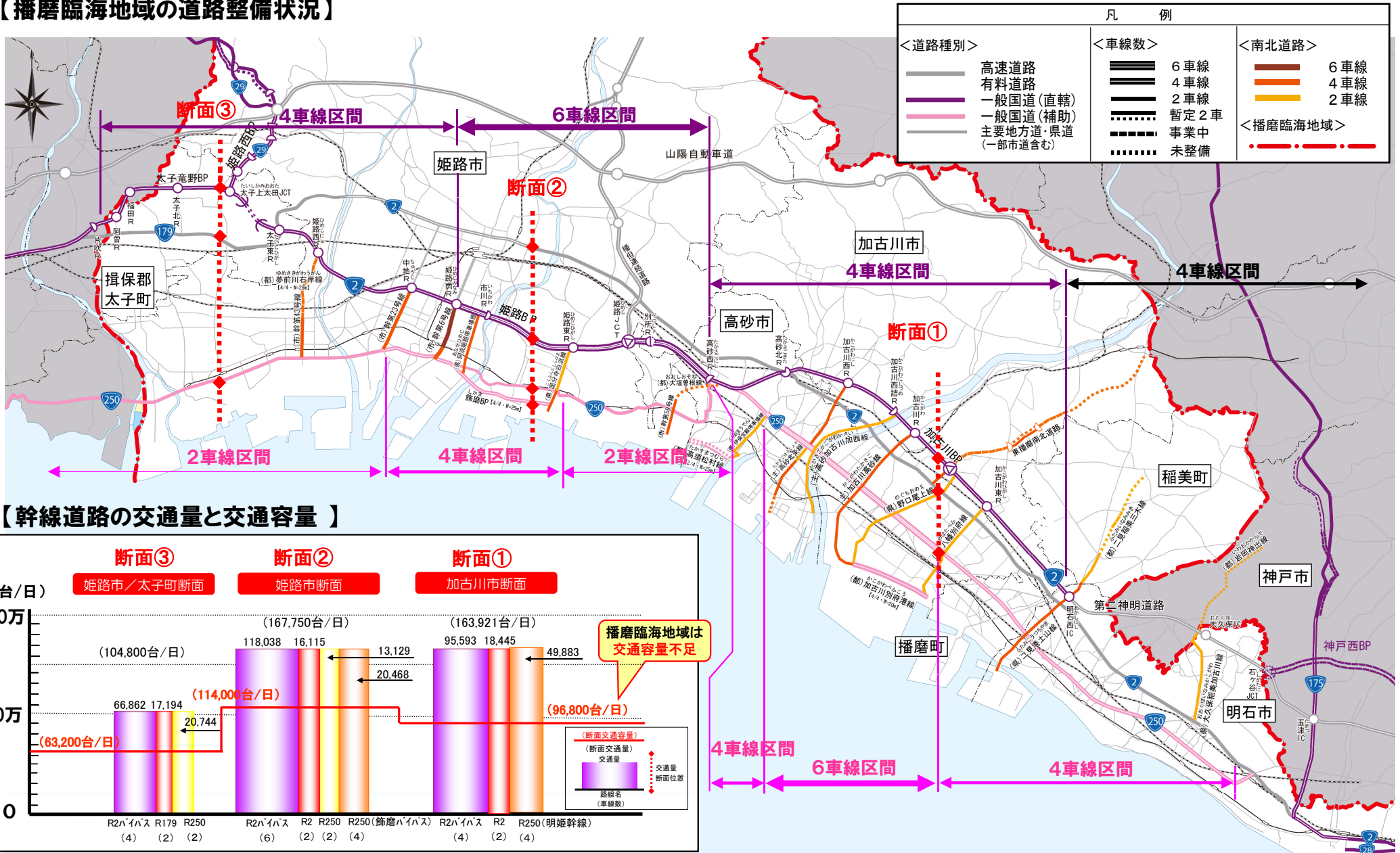
平成2年以降:  
さんよう  
山陽自動車道開通



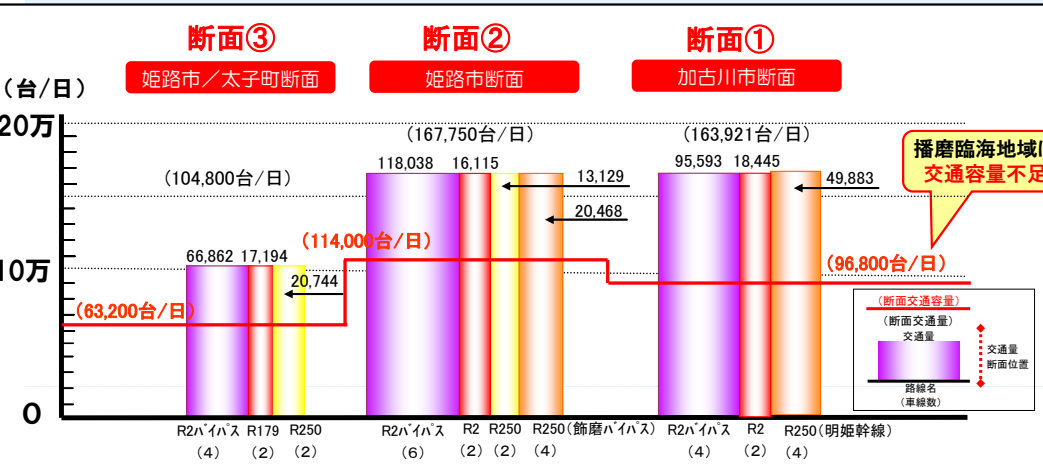
# 2. 播磨臨海地域の変遷 (道路整備状況)

## 東西の幹線道路の交通容量が不足

### 【播磨臨海地域の道路整備状況】



### 【幹線道路の交通量と交通容量】



※交通量は、H22年度道路交通センサス

※交通容量は、道路構造令における1車線あたりの設計基準交通量を採用 国道2号バイパス：第1種第3級(11,000台) 国道2号、国道250号：第4種第1級 2車線(9,600台)、多車線(7,200台)



## 3. 地域の現状と課題

---

# 3. 地域の現状と課題 (人口・企業立地)

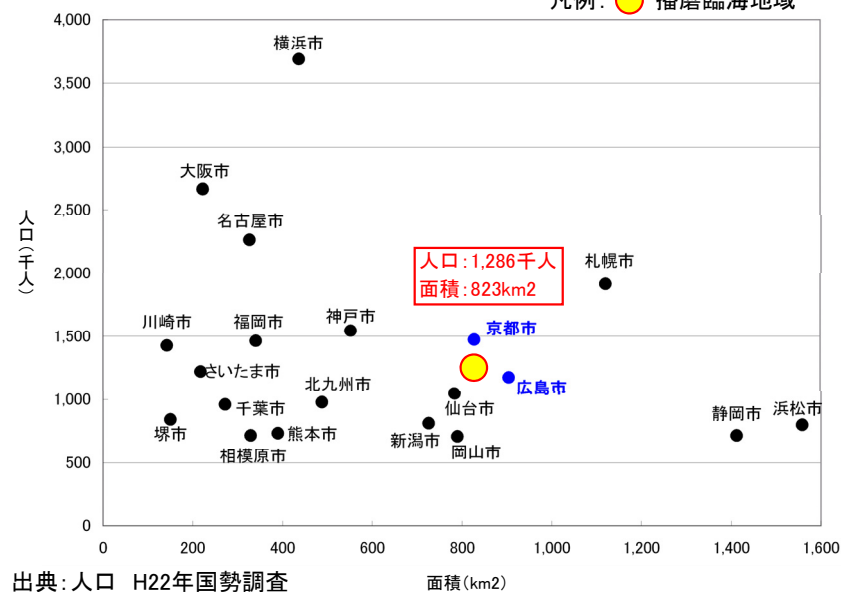
- 播磨臨海地域の人口・面積比は、京都市や広島市の政令指定都市と同等規模
- 製造品出荷額は、主要都市よりも多く、世界や国内の**トップシェアを持つ企業の製造拠点が集積**

## 【播磨臨海地域の構成】



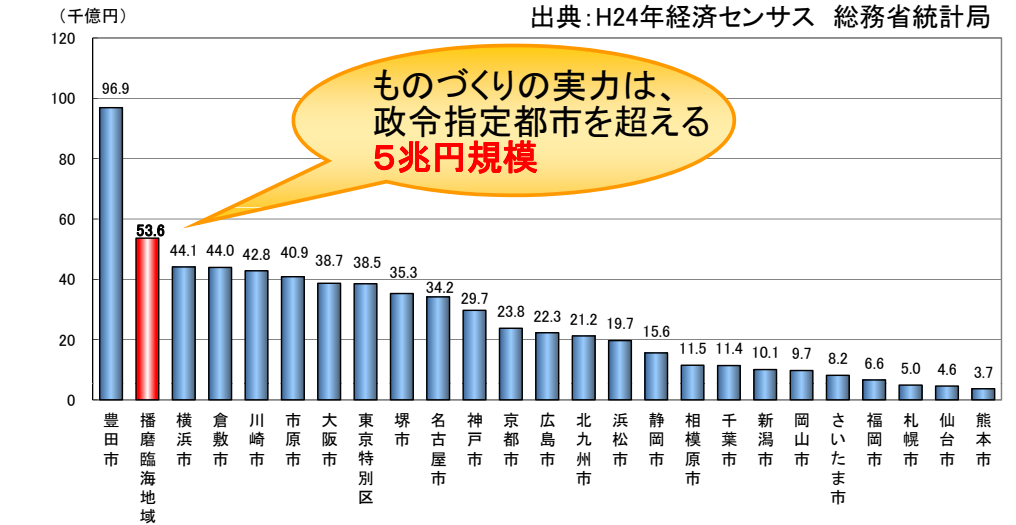
※播磨臨海地域は、姫路市、高砂市、加古川市、明石市、播磨町、稲美町、太子町の4市3町で構成

## 【播磨臨海地域の人口・面積比】

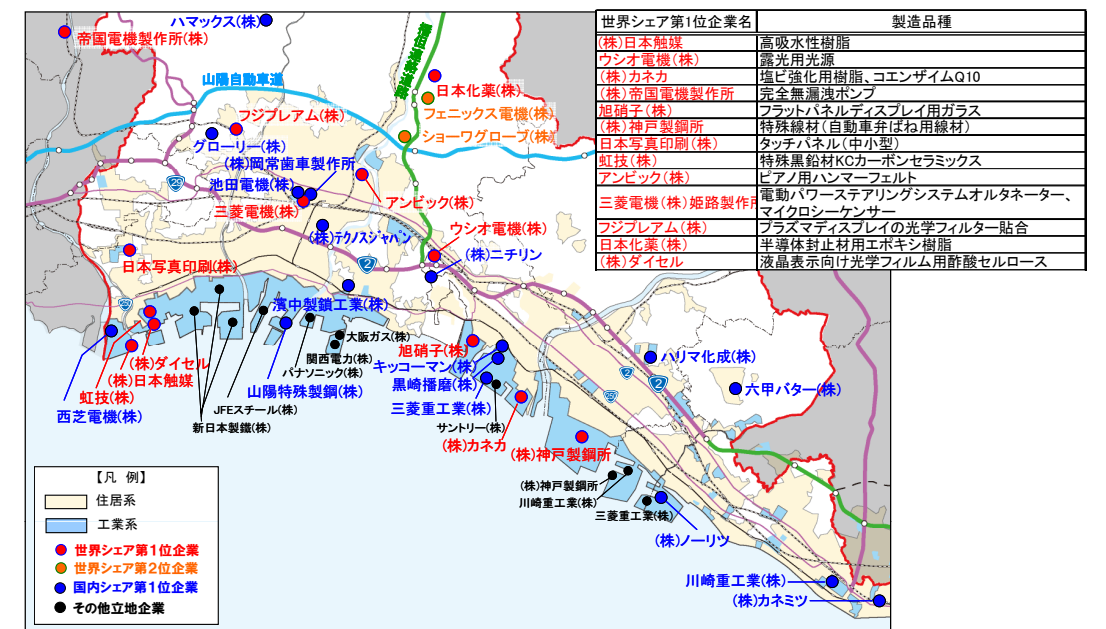


出典: 人口 H22年国勢調査 面積 平成22年全国都道府県市区町村別面積調による総面積

## 【播磨臨海地域の製造品出荷額】



## 【播磨臨海地域に集積するトップシェアを持つ企業群】

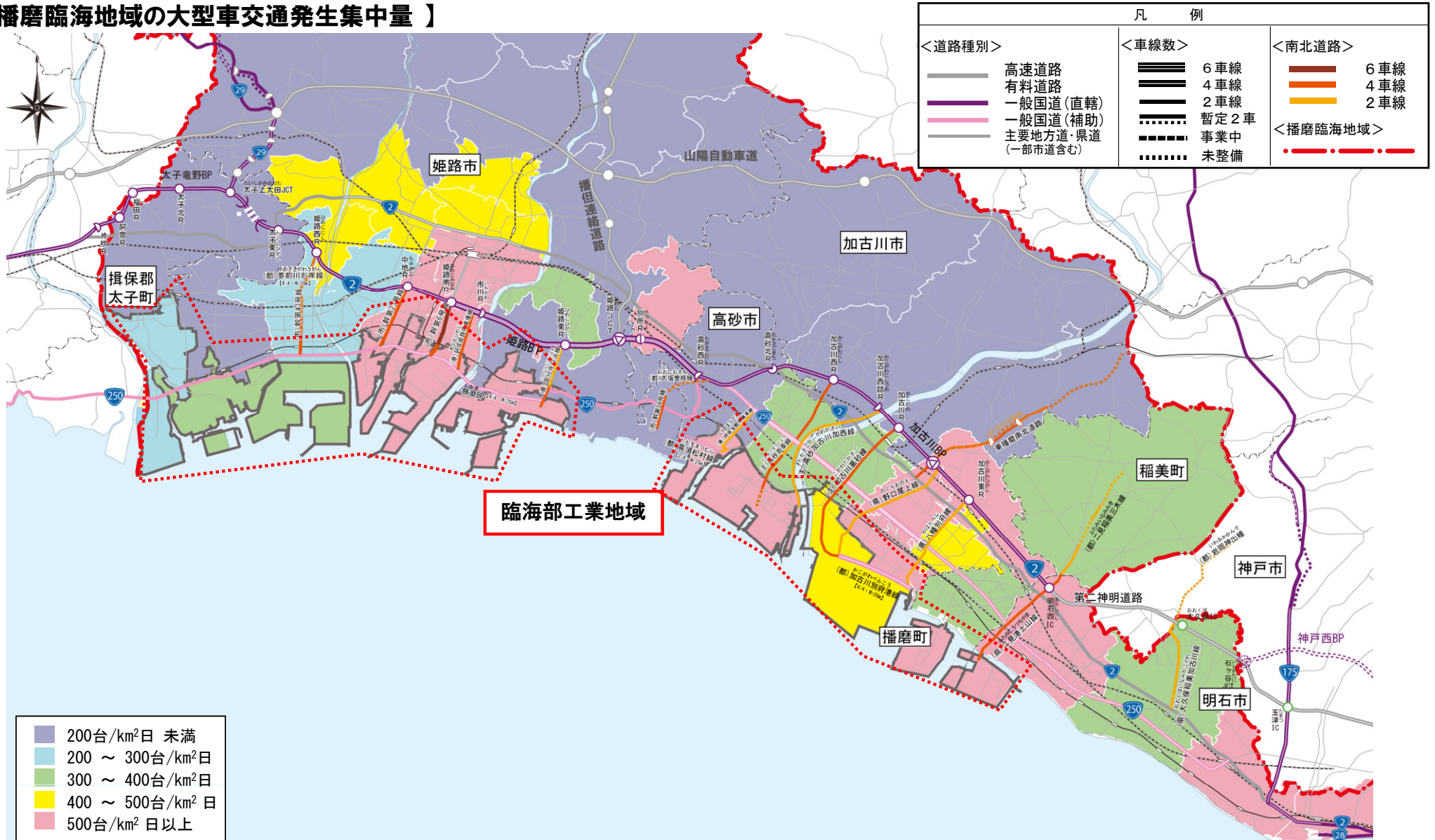


※各企業のシェアデータは、播磨臨海地域道路網協議会 (H23年6月調べ) (姫路市・加古川市・明石市・高砂市・稲美町・播磨町・太子町) 資料を参考に作成

# 3. 地域の現状と課題（貨物車の発生集中量）

- 南側の臨海部工業地域で、貨物車の発生集中量が多い
- 国道2号バイパス、播但連絡道路の周辺で、発生集中量が多い

【播磨臨海地域の大型車交通発生集中量】



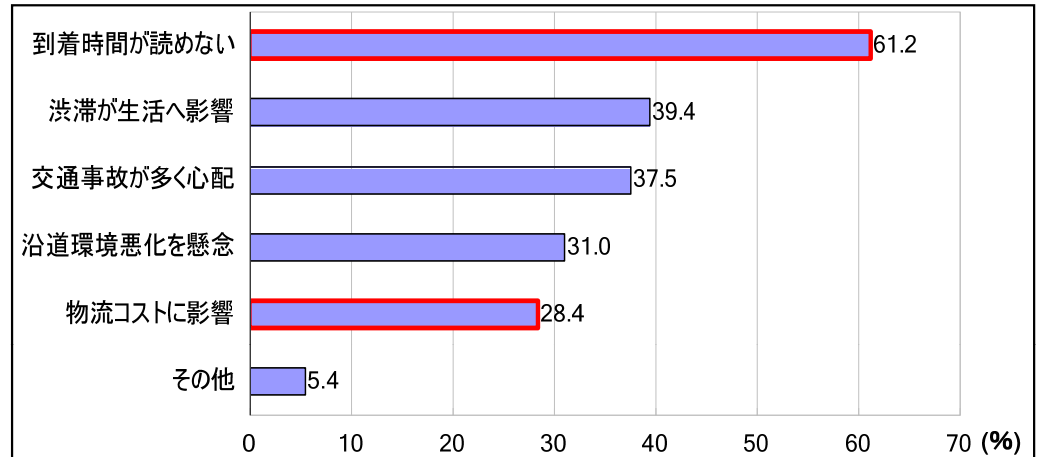
# 3. 地域の現状と課題（渋滞による企業活動への影響）

- 国道2号バイパスを中心とした幹線道路の渋滞が著しく、企業活動に影響
- 輸送コストの増加等による競争力低下が懸念

## 【国道2号バイパス及びその周辺道路の渋滞状況】



## 国道2号バイパスの渋滞は、企業活動に影響を与えていますか？（企業種別選ばず）



出典：民間企業等との協働型道づくりに関するアンケート調査  
（企業アンケート調査 662社）播磨臨海地域道路網建設促進協議会（H19年度）

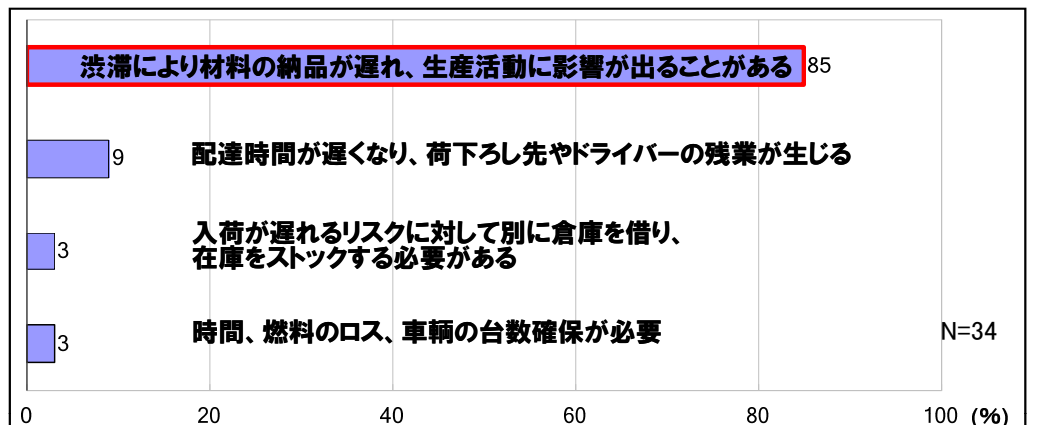


至 岡山  
国道2号市川ランプ周辺の渋滞状況  
撮影：平成25年6月6日



至 国道2号BP  
(県)国分寺白浜線 北行き  
撮影：平成25年6月4日

## 具体的にどのような影響を与えていますか？（製造業対象）



出典：播磨臨海地域の製造業社（73社）へのアンケート調査結果  
（播磨臨海地域道路網協議会 H24年2月）

# 3. 地域の現状と課題（観光）

- 播磨臨海地域の観光消費額は、世界遺産姫路城などを中心に、**兵庫県全体の約2割を占める年間1800億円以上**
- **観光施設への移動の約5割**が、自家用車やバスなどの車による移動

## 【播磨臨海地域の観光施設】



①姫路城  
H23年度入込客数:611千人



②姫路セントラルパーク  
H23年度入込客数:537千人



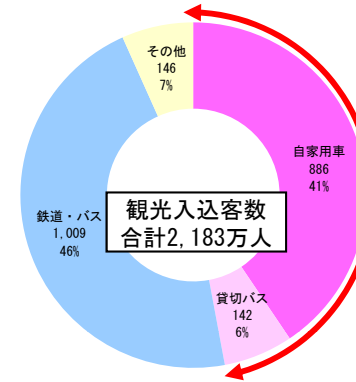
③姫路市立動物園  
H23年度入込客数:408千人

※図中観光施設は、「平成23年度 兵庫県観光客動態調査報告書」における主要観光施設

※掲載写真は、下記より転載  
 姫路城：姫路市HP 姫路フォトバンク  
 姫路セントラルパーク：姫路市HP 姫路観光ナビひめのみち  
 姫路市立動物園：姫路市HP 姫路フォトバンク

※東播磨地域：明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町  
 ※中播磨地域：姫路市、福崎町、市川町、神河町

## 【観光入込客数の利用交通内訳(H21年度)】



播磨臨海地域へは約5割が自動車で来訪

単位: 万人

※東播磨+中播磨の合計

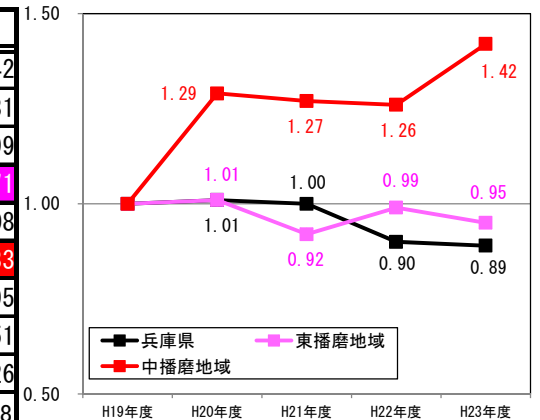
## 【観光消費額】

兵庫県内の消費額(H23年度)

地域	観光消費額(億円)
神戸地域	2,842
阪神南地域	1,031
阪神北地域	1,199
東播磨地域	671
北播磨地域	908
中播磨地域	1,133
西播磨地域	495
但馬地域	851
丹波地域	326
淡路地域	818
兵庫県合計	10,274

東・中播磨の観光消費額は兵庫県全体の約2割

観光消費額の伸び率



出典: 兵庫県観光客動態調査(兵庫県)

# 3. 地域の現状と課題（老朽化対策に伴う社会的影響）

- 国道2号バイパスは、**今後10年で、建設後50年以上を迎える橋梁が117橋に及ぶ**
- 加えて国道2号バイパスは、約10万台/日の交通量があり、**大型車交通量が多く、道路が受ける負担や損傷が大きい**
- 現在建設中の加古川中央JCT工事に伴う**1車線規制**では、**本線の渋滞に加え、迂回車両により周辺道路が渋滞**
- **老朽化による大規模修繕のための交通規制や通行止めは、地域に及ぼす社会的影響が大きい**

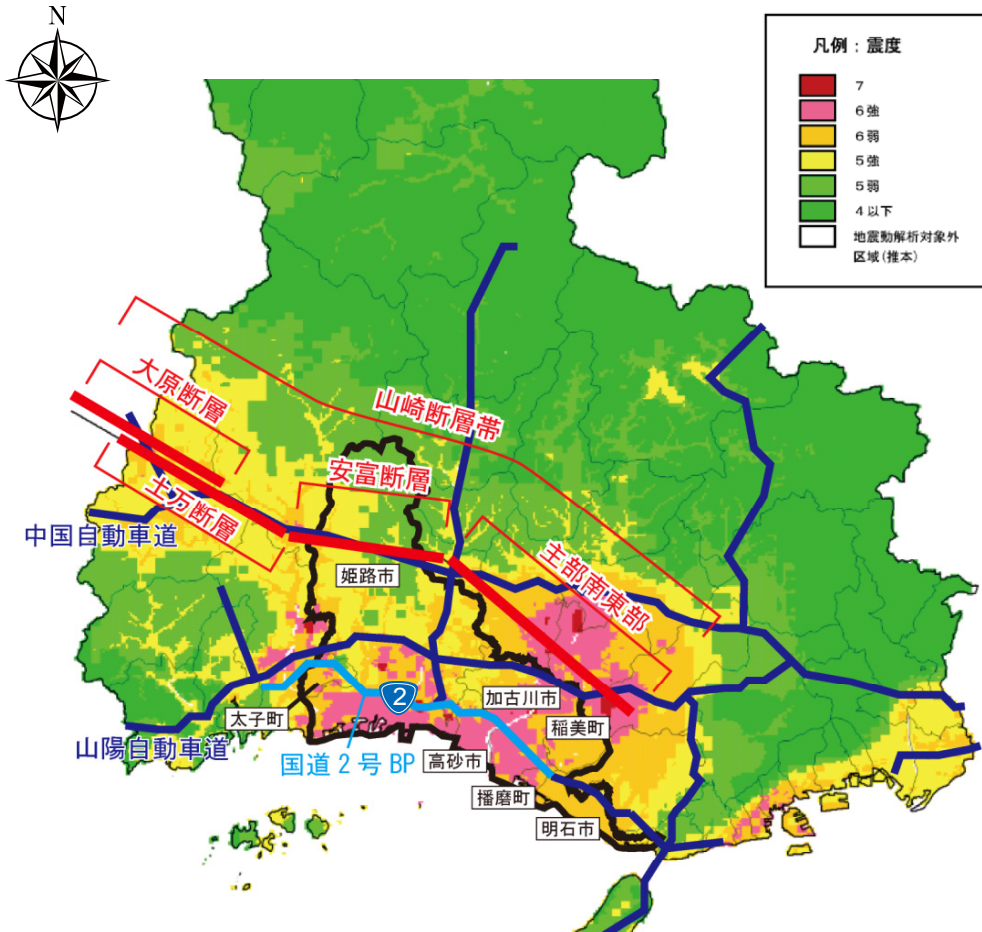


※1 写真①～⑤は、加古川中央JCT工事に伴う3日間昼夜連続1車線規制を実施した際の加古川バイパス本線の状況と迂回車両による周辺道路の混雑状況を示す。(H22年.4月・5月・7月、H23年9月・10月・11月、H25年10月・11月・12月実施)

# 3. 地域の現状と課題（山崎断層）

■ 中国自動車道や山陽自動車道などの交通の東西軸を分断する位置に、山崎断層帯が存在しており、地震の際には相当な被害が予想される

【山崎断層帯大地震(大原・土万・安富・主部南東部)の震度分布】



※震度および被害想定については、山崎断層帯(大原・土万・安富・主部南東部)が同時に動いた場合を想定

【山崎断層大地震の被害想定】

震度	市域	人的被害(人)		物的被害(棟)	
		死者	負傷者	全壊	半壊
震度7	姫路市	1,084	7,791	17,922	39,431
	加古川市	775	5,046	12,547	25,677
	高砂市	361	2,089	5,783	10,519
	たつの市	204	950	3,286	7,757
	三木市	379	1,431	6,129	8,060
	小野市	329	1,224	5,240	8,407
	加西市	89	415	1,430	4,040
	加東市	99	443	1,545	4,008
	神戸市	306	5,539	5,577	20,352
	明石市	56	1,211	1,105	7,417
震度6強	稲美町	40	330	648	2,750
	播磨町	58	496	896	2,392
	宍粟市	35	175	550	2,372
	太子町	47	364	746	2,673
	佐用町	18	87	266	1,561
	尼崎市	17	720	850	4,519
	西宮市	3	115	351	726
震度6強弱	芦屋市	2	26	86	180
	伊丹市	2	107	68	582
	宝塚市	2	31	35	217
	川西市	2	15	18	133
	福崎町	2	17	27	226
	相生市	6	23	83	335
	赤穂市	2	21	100	271
	淡路市	2	9	29	125
	播磨臨海地域(計)	2,421	17,327	39,647	90,859

**播磨臨海地域の想定被害**

- ・死者 : 2,421人
- ・負傷者 : 17,327人
- ・全壊 : 39,647棟
- ・半壊 : 90,859棟

※人的被害は早朝5時のケース  
全壊は揺れのほか、崖崩れ、  
液状化、火災による全焼も含む

# 3. 地域の現状と課題（洪水浸水被害）

■ 洪水時には、広範囲に渡る浸水が想定されており、**住民生活や企業生産活動に影響**

## 【播磨臨海地域の洪水浸水想定区域】



台風18号由良川浸水被害(平成25年9月)  
出典：福知山河川国道事務所



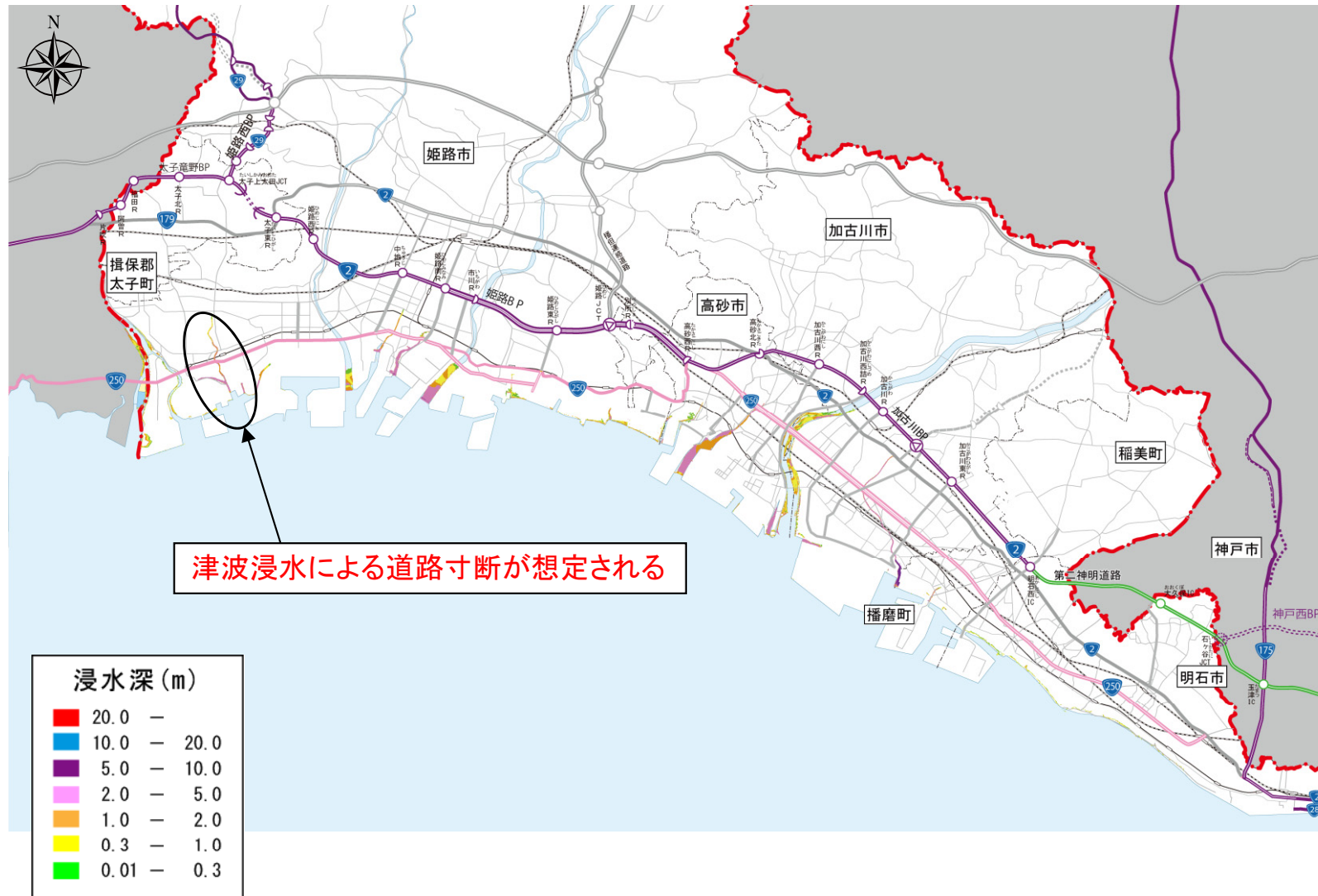
道路の浸水被害状況  
京都府福知山市市川北地区  
(平成25年9月16日)



# 3. 地域の現状と課題（津波浸水被害）

■ 東海・東南海・南海地震の発生時には、津波により一部の道路で浸水が懸念

## 【播磨臨海地域の津波浸水想定区域】



凡 例	
	直轄国道
	国道250号

東日本大震災で浸水した国道45号  
出典：仙台河川国道事務所



宮城県塩竈市尾島町地内



宮城県松島町松島地内

出典：「南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域（第二次報告）及び被害想定（第一次報告）について」 H24.8.29 内閣府

## 4. 道路交通の現状と課題

---

# 4. 道路交通の現状と課題 (交通渋滞)

- 国道2号バイパスを中心に主要渋滞箇所が多数存在
- 国道2号バイパスは、明石西IC(明石市)から中地ランプ(姫路市)で、**混雑時間帯には、平常時と比べて約13分(約1.7倍)の遅れが発生**

## 【播磨臨海地域周辺の主要渋滞箇所】



## 渋滞は周辺道路にも影響 姫路東ランプ付近



撮影: 平成20年2月20日

## 【国道2号バイパスの交通状況】

● 姫路東～中地ランプ(平成25年6月6日)



交通量 118,818台/日

● 加古川西～加古川ランプ(平成25年6月4日)



交通量 93,258台/日

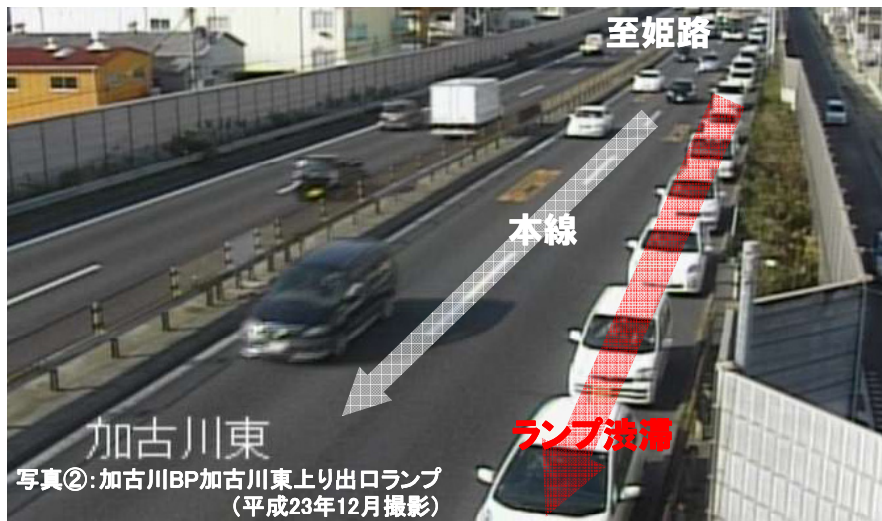
# 4. 道路交通の現状と課題（緊急輸送への影響）

- 国道2号バイパスの出口ランプにおける渋滞は、本線交通に影響
- 出口ランプ路肩部分の車列により、緊急車両の通行を阻害

## 【出口ランプ部の渋滞による本線交通への影響】



## 【出口ランプ部の渋滞状況】



## 【国道2号バイパスと救命救急センター】



「姫路南・中地ランプの利用が多いが、ランプの渋滞がひどく、路肩も殆ど無いため、緊急車の通行に支障を来している。」  
平成25年12月20日 姫路市消防局ヒアリングより

# 4. 道路交通の現状と課題（交通事故）

- 国道2号バイパス、国道250号ともに、**兵庫県内平均の約2倍以上の死傷事故率**
- **渋滞が要因となり発生した**観光バス追突事故は、朝のピーク時間帯と重なり**約20kmの渋滞が発生**（H24.1.27発生）

## 【国道2号バイパスの平均死傷事故件数】



出典：ITARDAデータ  
※事故件数は、H20年～23年の4年間の平均

## 【加古川バイパス 観光バス追突事故】

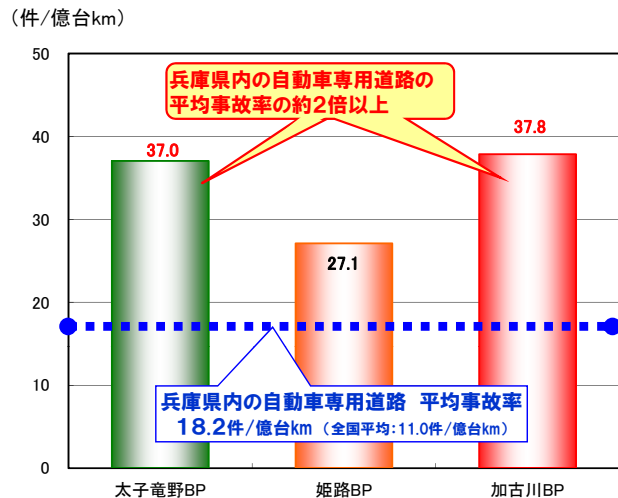


**観光バスが追突**  
添乗員重傷、乗客けがなし

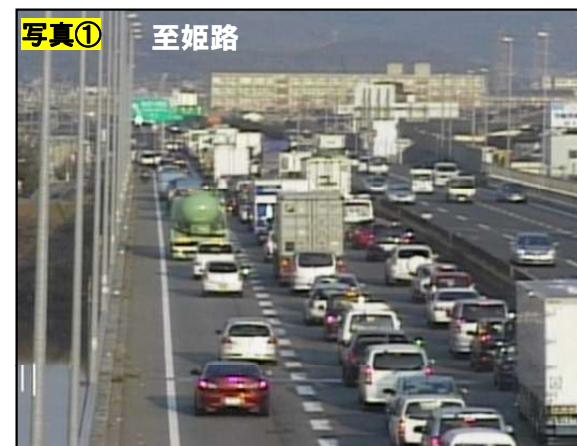
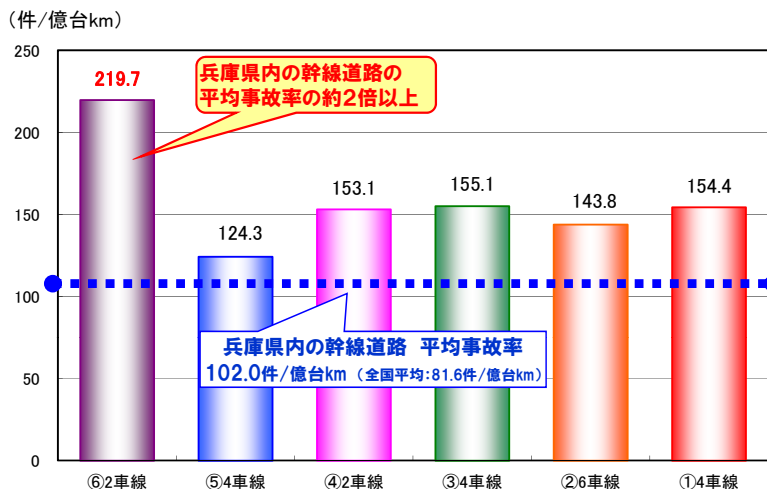
27日午前9時、兵庫県加古川市神吉町出前原の加古川バイパスで発生した観光バス追突事故の現場。観光バスが追突された黒い乗用車は、乗客けがなしで無事。観光バスは、乗客けがなしで無事。添乗員は重傷で、救急搬送された。乗客はけがなしで無事。事故原因は、乗用車の急ブレーキによる追突と見られる。観光バスは、乗客けがなしで無事。添乗員は重傷で、救急搬送された。乗客はけがなしで無事。事故原因は、乗用車の急ブレーキによる追突と見られる。

出典：毎日新聞  
平成24年1月27日夕刊  
「毎日新聞社許諾済み」

## 【国道2号バイパスの死傷事故率】



## 【国道250号バイパスの死傷事故率】



写真① 至姫路  
事故直後の下り線の渋滞状況  
撮影：平成24年1月27日

## 5. 地域及び道路の現状（まとめ）

---

## 5. 地域及び道路の現状（まとめ）

- ① 播磨臨海地域の道路は、未だ東西の幹線道路の交通容量が不足
- ② 国道2号バイパスを中心に、主要渋滞箇所が多数存在
- ③ 幹線道路の著しい渋滞により、企業の生産活動、物流コストに影響
- ④ 老朽化による大規模修繕のための交通規制や通行止めは、地域に及ぼす社会的影響が大きい
- ⑤ 国道2号バイパスの出口ランプ部の渋滞は、本線交通に影響するとともに、緊急車両の通行を阻害
- ⑥ 国道2号バイパス、国道250号ともに、兵庫県内平均の約2倍以上の高い死傷事故率
- ⑦ 中国自動車道や山陽自動車道など交通の東西軸を分断する位置に、山崎断層帯が存在しており、地震の際には相当な被害が想定
- ⑧ 洪水時には、広範囲に渡り浸水が予測
- ⑨ 東海・東南海・南海地震の発生時には、臨海部において津波により道路が浸水

## 6. 今後の進め方（予定）

---



# 6. 今後の進め方（予定）

**近畿地方小委員会（平成25年12月25日）**  
（審議事項）○手続きの進め方  
○地域、道路、交通状況と課題 等



**近畿地方小委員会**  
（審議事項）○優先区間の絞り込みの観点  
○地域の意見聴取の手法、内容 等



**地域の意見聴取**  
・沿線地域や企業等へのヒアリング、アンケート 等



**近畿地方小委員会**  
（審議事項）○優先整備区間(案)の検討、選定 等



**優先区間の設定**

地 方  
小 委 員 会